



CHAPTER 8

Cisco Unified Presence の管理ページでの TLS コンテキストの設定

- 「TLS コンテキストの設定」 (P.8-1)
- 「TLS コンテキストの検索」 (P.8-3)
- 「TLS コンテキストの削除」 (P.8-4)

TLS コンテキストの設定

設定したアプリケーション リスナーごとに 1 つの Transport Layer Security (TLS; トランスポート レイヤ セキュリティ) コンテキストを関連付けることができます。プロトコル タイプが TLS のアプリケーション リスナーに TLS コンテキストを関連付ける必要があります。

それぞれの TLS コンテキストには、暗号とピア サブジェクトを複数含めることができます。TLS コンテキスト設定により、暗号とピア サブジェクトをアプリケーション リスナーにマッピングできます。

始める前に

使用しているネットワークに合わせてアプリケーション リスナーを設定します。

手順

ステップ 1 次のいずれかの操作を実行します。

| 操作の目的 | 操作 |
|-----------------|---|
| TLS コンテキストを追加する | <ol style="list-style-type: none">[システム (System)] > [セキュリティ (Security)] > [TLS コンテキスト設定 (TLS Context Configuration)] の順に選択します。[新規追加 (Add New)] をクリックします。 |
| TLS コンテキストを更新する | <ol style="list-style-type: none">レコードを検索します。必要に応じてレコードを編集します。 |

ステップ 2 表 8-1 の説明に従って TLS コンテキストの設定値を入力します。

表 8-1 TLS コンテキストの設定値

| フィールド | 説明 |
|---|--|
| 名前 (Name) | TLS コンテキストに一意の名前を指定します。 |
| 説明 (Description) | TLS コンテキストの説明を指定します。 |
| 承認ポリシー (Authorization Policy) | 特定の TLS コンテキストに対する承認の種類を指定します。リストボックスから [サーバ (Server)] または [ピア (Peer)] (デフォルト) のいずれかを選択します。 |
| 空の TLS フラグメントの無効化 (Disable Empty TLS Fragments) | 空の TLS フラグメントを有効にするか無効にするかを指定します。 |
| TLS 暗号のマッピング (TLS Cipher Mapping) | 使用可能な選択済み TLS 暗号が表示されます。次の暗号を追加/削除できます。 <ul style="list-style-type: none"> • TLS_WITH_RSA_AES_128_CBC_SHA • TLS_WITH_RSA_AES_256_CBC_SHA • TLS_WITH_RSA_NULL_SHA • TLS_RSA_WITH_3DES_EDE_CBC_SHA |
| TLS ピア サブジェクトのマッピング (TLS Peer Subject Mapping) | 使用可能な選択済み TLS ピア サブジェクトが表示されます。 (注) TLS ピア サブジェクトは、TLS ピア サブジェクトのウィンドウで定義できます。 |

ステップ 3 適切な TLS 暗号を選択するには、上向きまたは下向きの矢印をクリックします。

ステップ 4 適切な TLS ピア サブジェクトを選択するには、上向きまたは下向きの矢印をクリックします。

ステップ 5 データを保存するには、次のいずれかの操作を実行します。

- a. ウィンドウの左上隅にあるツールバーに表示されている [保存 (Save)] アイコンをクリックします。
- b. ウィンドウの下部にある [保存 (Save)] をクリックします。

トラブルシューティングのヒント

TLS コンテキストに対する変更を有効にするには、SIP プロキシ サーバを再起動する必要があります。このプロキシ サーバを再起動するには、[プレゼンス (Presence)] > [ルーティング (Routing)] > [設定 (Settings)] の順に選択します。

関連項目

- 「[TLS コンテキストの検索](#)」 (P.8-3)
- 「[Cisco Unified Presence の管理ページでの SIP プロキシ サーバの設定](#)」 (P.16-1)
- 第 4 章「[Cisco Unified Presence の管理ページでのアプリケーション リスナーの設定](#)」

TLS コンテキストの検索

ネットワークに複数の TLS コンテキストが存在する可能性があるため、Cisco Unified Presence では、具体的な検索条件に基づいて特定の TLS コンテキストを検索できます。

手順

- ステップ 1** [システム (System)] > [セキュリティ (Security)] > [TLS コンテキスト設定 (TLS Context Configuration)] の順に選択します。
- ステップ 2** データベースのすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認して、**ステップ 4** に進みます。
- ステップ 3** レコードをフィルタリングまたは検索するには、次のいずれかの操作を実行します。
- 最初のリスト ボックスから検索パラメータを選択します。
 - 2 番目のリスト ボックスから検索パターンを選択します。
 - 必要に応じて適切な検索テキストを指定します。
- ステップ 4** [検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 5** 表示されるレコードのリストから、次の 1 つまたは複数の操作を実行します。

| 操作の目的 | 操作 |
|---------------------|-----------------------------------|
| レコードを表示する | 該当するレコードのリンクをクリックします。 |
| レコード リストのソート順序を逆にする | リストのヘッダーにある上向き矢印または下向き矢印をクリックします。 |

関連項目

[「Web ブラウザ セッション」 \(P.1-7\)](#)

TLS コンテキストの削除

手順

- ステップ 1** TLS コンテキストを検索します。
- ステップ 2** 一致するレコードのリストから、削除する TLS コンテキストを選択します。
- ステップ 3** TLS コンテキストを削除するには、次のいずれかの操作を実行します。

| 操作の目的 | 操作 |
|---------------|--|
| 選択したレコードを削除する | <p>a. 該当するレコードをオンにします。</p> <p>b. 次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ウィンドウの下部にある [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。 • ウィンドウの左上隅にあるツールバーに表示されている [選択項目の削除 (Delete Selected)] アイコンをクリックします。 |
| すべてのレコードを削除する | <p>a. [すべてを選択 (Select All)] をオンにします。</p> <p>b. [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。</p> |

トラブルシューティングのヒント

- TLS コンテキストが使用中でない場合は、Cisco Unified Presence により削除されます。使用中の場合は、メッセージが表示されます。
- TLS コンテキストに対する変更を有効にするには、SIP プロキシ サーバを再起動する必要があります。このプロキシ サーバを再起動するには、[プレゼンス (Presence)] > [ルーティング (Routing)] > [設定 (Settings)] の順に選択します。

関連項目

- 「[TLS コンテキストの検索](#)」 (P.8-3)
- 「[Cisco Unified Presence の管理ページでの SIP プロキシ サーバの設定](#)」 (P.16-1)